

回復力が弱まる中国景気

ポイント① 外需は今後の動向に警戒

中国では8月15日に、7月の主要な経済統計が発表されました。今年3月からの上海市のロックダウン（都市封鎖）が6月に解除されたことなどを背景に、鉱工業生産指数は前年同月比で+3.8%となりました。しかし、市場予想の+4.3%を下回っており、正常化には時間を要しそうです。供給網の混乱が解消傾向にあることなどから、7月の輸出は前年同月比+18.0%と前月並みとなりました。中国経済は緩やかな回復を示す結果となりましたが、今後、世界的な需要減速に伴い、再度低迷する可能性もあるため、予断を許さない状況です。

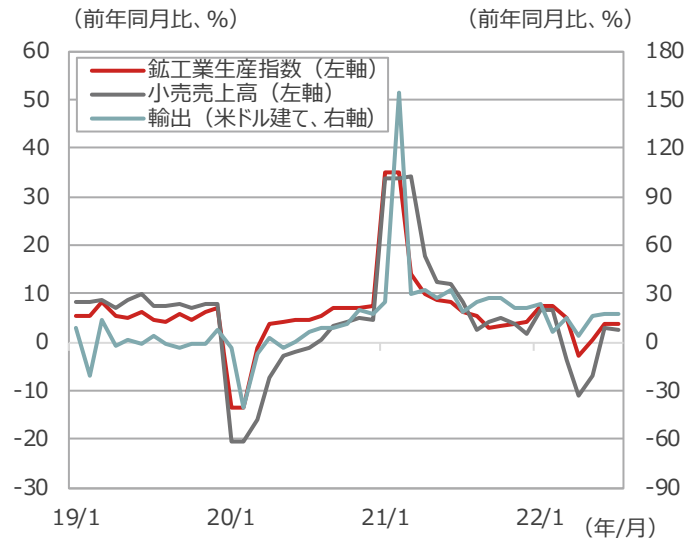
ポイント② 内需の回復には時間を要す

内需の回復は遅れています。個人消費の動向を示す小売売上高は、前年同月比で+2.7%と、市場予想の+4.9%を大きく下回りました。中国の一部都市では、再び行動制限が行なわれ、飲食業をはじめとした接触型の消費が落ち込んだことなどが要因と考えられます。1～7月のマンション建設などの不動産開発投資は前年同期比▲6.4%で、減少率が拡大しています。中国の不動産市場はマンション建設の中断が相次ぎ、それに伴う一部購入者の住宅ローン返済拒否などを背景に、低迷しています。

ポイント③ 株価下落、短期金利は引き下げ

主要な経済統計が市場の予想外に鈍化したことを受け、8月15日の中国株は下落しました。一方、中国人民銀行（中央銀行）は中期貸出ファシリティ（MLF）の1年物金利を2.85%から2.75%に引き下げました。未だ中国経済には行動制限の影響が残っているため、政府による下支えが、どの程度、景気回復に寄与するのかに注目が集まります。

中国の鉱工業生産指数、小売売上高、輸出



期間：2019年1月～2022年7月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

上海/深センCSI300株式指数



期間：2019年1月2日～2022年8月15日、日次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント 8月31日 中国製造業/非製造業PMI（購買担当者景気指数、8月）